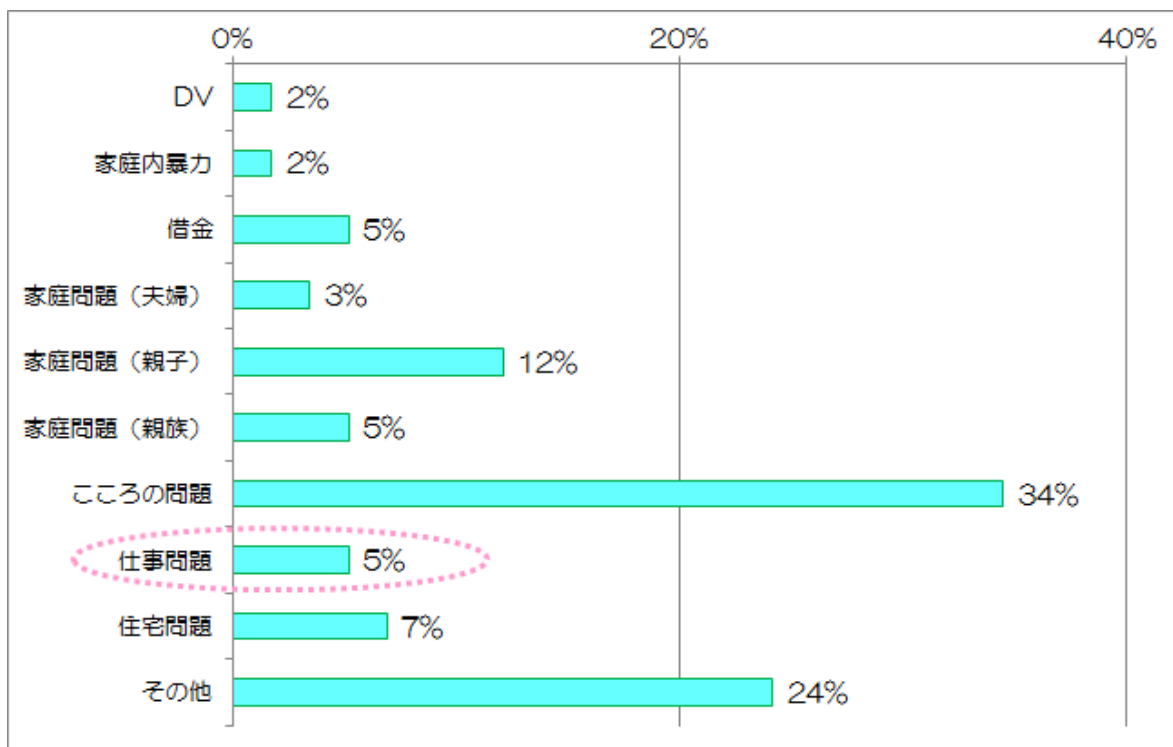


12月相談レポート ～「自立をめざして」～



ある男性（Aさん）から、「40代に入り、仕事に就けず困っている」というご相談がありました。詳しくお聞きしていくと、大学時代にアルバイトをした経験はあるものの、それ以降は「援助を受けて生活してきた」ため、仕事に就いたことが無かったといえます。

詳しく尋ねると、大学時代にアルバイト先で知り合った当時40代の既婚女性と恋愛関係になり、現在に至るまで計3,000万円以上の生活援助を受けてきたとのこと。そのため、大学卒業後も一度も就職した事がなく、短期でアルバイトをしても小遣い稼ぎ程度で、将来への焦りとは無縁だったそうです。Aさんが30代に入った頃、相手女性からのアドバイスもあり、徐々に将来のことを考えはじめたそうです。そして、女性から言われるがままに「社会保険労務士」の国家資格を取るため、予備校に4年間通ったといえます。学費は全て女性が援助してくれたそうです。しかし今回、「5年間受け続けた国家試験に落ちたこと」、「20年来にわたり援助してくれた女性も既に60代になり、『もうこれ以上は…』と今後の援助を断られたこと」から、Aさんは初めて危機感を感じ相談に訪れたのでした。

お話を伺う中で自立するまでの難しさを感じたのは、Aさんは就活をする以前に「〇〇の仕事は大変そうだから無理…」と、あらゆる職業の欠点ばかりを列挙していたことです。さらに、「過去のバイト先では、上司から注意されたことが気に食わなくて辞めた」と話していたことです。新しい環境に飛び込むには、チャレンジする気持ちや忍耐力も必要になります。それ以降は、目的や達成感など、人によっても異なります。Aさんには、まずハローワークへ行き、「履歴書の書き方指導」「職業相談（適職相談など）」を受け、就活へ向けた具体的な準備を始めることを助言しました。もう一つ大切なことは、自分が自立するまでのリミットを決めておくこと。そして、「あきらめないこと」です。「何もできない」自分から一歩踏み出すことで、人間的にも成長し、必要な自尊心がついてくることもお伝えしました。

～悩みごとや困りごとがありましたら公益社団法人日本駆け込み寺へ～

◆新宿歌舞伎町駆け込み寺：03-5291-5720 ◆仙台国分町駆け込み寺：022-395-7740